

令和5年度 第4学年 授業改善推進プラン

台東区立蔵前小学校

1 児童の状況及び実態

算数	<ul style="list-style-type: none"> ・台東区総合学力調査結果では、基礎・活用ともに区の平均よりも若干上回る。 ・「かけ算の筆算に出てくる数の意味を理解している」の観点では区の平均よりも若干低い。 ・台東区総合学力調査結果の総合では、前年度校内平均より4ポイント程下回っている。 ・1学期の授業では、分度器を使った角度の測定を苦手とする児童が多かった。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・動植物や各教材に対して、様々な気付きや思いを抱くことができ、意欲的に学んでいる。 ・差異点や共通点を基に、問題を見いだすという学習の流れに少しずつ慣れてきている。 ・自然の事物・現象に進んで関わり、問題を見だし、見通しをもって追究して学習の流れに慣れてきている。 ・実験結果の記録の仕方や表の読み取りなどが苦手な児童がいる。 ・問題解決の過程を通して、既習の内容や生活経験、観察、実験などの結果から導きだした結論と意味付けたり、関係付けたりすることが苦手な児童が多い。

2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	<p>○知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算や角度の測定など、基本的な技能 <p>○思考力・判断力・表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算の意味を理解し、説明する力 <p>○学びに向かう力、人間性等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを生かそうとする態度や主体的に問題解決しようとする力 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算のスキルや道具の利活用ぬいて基本的な技能を高めるため反復学習の機会を設ける。 ・デジタル教材を活用し、復習する。 ・計算の意味を理解し、説明する活動を設ける。 ・児童が自分の言葉で考えを書く学習活動を計画的に授業に取り入れる。 ・習熟度別グループでの授業を行い、児童の実態に合わせて学習課題を設定する。
理科	<p>○知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察、実験などに関する基本的な技能 <p>○思考力・判断力・表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の力 <p>○学びに向かう力、人間性等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが実験器具や機器などを目的に応じて工夫して扱う時間を十分に確保する。 ・観察、実験の過程やそこから得られた結果を適切に記録できるようにする。 ・自然の事物や現象に親しむ中で興味・関心をもって、そこから問題を見いだせるようにする。 ・予想や仮説を基に観察、実験などを行い、結果を基に結論を導きだす問題解決の力を身に付けられるようにする。 ・学習内容が生活場面のどこで生かされているか、生かすことができるか具体的な場面を捉えさせ、学習問題に取り組ませる。

